



会長あいさつ

曾於市農業委員会

会長 池田 一 信

農業委員会だよりの発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、かねてより農業委員会の運営・業務に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

農業委員会は昨年7月全国統一選挙が実施され、曾於市農業委員会でも新たに公選委員・30人と、団体と議会推薦による委員・6人の合計36人が誕生し、それぞれ農業委員としての活動を展開しております。

ご承知のとおり日本の農村は少子高齢化が進み、農村部では人口が減少し「限界集落」という今まで聞いたことのないような言葉まで生まれております。

このような社会情勢のもと、我々農業委員は先代から受け継いだ、人が生きるための貴重な財産である農地を守り、有効に活用することが私たちに与えられた一番の責務であると考えています。

近年、国際化時代の中で外国農畜産物の輸入等により価格は下落し、農業経営にとりましては厳しい経営環境が続いています。それに伴い農業後継者不足、農家戸数の減少、農業者の高齢化が進み遊休農地の増大から農地の荒廃まで広がりつつあります。

農業委員会では、これらの解決策として農地の有効利用を促進し、土地利用型農業を目指した農地の取得又は借り入れにより、規模拡大を行う農業者と土地を貸し付ける人に対して助成金を交付し、農業者の育成確保と遊休農地解消に努めています。

また、認定農業者との意見交流会等をするなど、日常活動の中で農家の皆さんから出されました意見・要望等を取りまとめ、国・県・市に対して建議・政策提言をしています。

曾於地区は土地基盤整備された条件のよい耕地も多く、農地を守り有効に利活用することが大切だと考えます。

今後、農業振興のため関係機関との連携を強め、曾於市の基幹産業である農業の発展のために、農業委員会一体となりまして努めて参りたいと思いますので、皆様のご理解・ご指導・ご支援をお願い申し上げご挨拶とします。